

平成28年度 湊山中学校区 小中一貫カリキュラム 国語科「話すこと・聞くこと」

「話すこと・聞くこと」における中学校区の子どもの課題：

- ・相手、場、目的や場面にに応じて話す。
- ・他者の考えに触れ、自らの考えを深める。



改善の視点：

- ・他者の考えを聞き、自らの考えを深められたか。
- ・目的や場面にに応じて適切に表現できたか。

	前期		中期		後期		9年間で付けたい力	
	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校1学年	中学校2学年	中学校3学年		
段階	言語感覚を養い、日常的な表現力を身に付ける段階		目的や意図に応じた表現力を身に付ける段階		他者の考えにふれ、自らの考えを深め、適切な表現力をさらに充実させる段階			
各段階における目標	相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。		目的や意図に応じ、考えたことや日常生活に係ることなどについての確に話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向を捉えて計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして、考えをまとめようとする態度を育てる。		目的や場面に応じ、社会全体にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。			
指導事項	話題設定や取材に関する指導事項	○身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと。 ○関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。		○考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係づけること。 ○日常生活の中から話題を決め、話し合うための材料を人との交流を通して集め、整理すること。		○社会生活の中から話題を決め、自分の経験から知識を整理して考えをまとめること。 ○語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。		広い範囲から話題を求め、集めた情報を効果的に活用し、的確に自己表現しようとする。
	ステップアップポイント	身近なこと・経験したこと ↓ 関心のあることなどから ☆必要な事柄について思い出したり、調べたりする。		考えたこと・伝えたいこと ↓ 日常生活の中から ☆人との交流を通して収集した知識や情報を整理させる。		日常生活 ↓ 社会生活 ☆自分自身の経験や知識の中に材料を求めさせる		
事項	話すことに関する指導事項	○相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。 ○姿勢や口形、声の大きさや早さなどに注意して、はっきりとした発音で話すこと。		○目的や意図に応じて事柄が明確に伝わるように話の構成を考えながら場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。 ○全体と部分、事実と意見に注意して、話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。		○異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、論理的な構成や展開を考えて話すこと。 ○場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。		・自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い説得力のある話ができるようになる。 ・場の状況や相手の様子に応じて話せるようになる。
	ステップアップポイント	話す事柄を順序立てる ↓ 丁寧な言葉と普通の言葉 ↓ 話形を提示し、分かりやすい話し方 相手に応じた話し方 ☆はっきりした発音で話す。		事柄が明確に伝わる構成 ↓ 場に応じた適切な言葉遣い ↓ 事実と意見との関係に注意した構成 相手の反応を踏まえて話す ☆学年に応じた言葉遣いで話す。		相手意識、場面意識を明確に持つ ↓ 自分の意図を伝えるための表現、工夫 ☆相手の様子や場の状況に応じた適切な言葉使いができる。		
	聞くことに関する指導事項	○大事なことを落とさないようにしながら、興味を持って聞くこと。 ○話の中心に気を付けて聞き、質問したり感想を述べたりすること。		○話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。 ○必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。		○話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。 ○聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。		
	ステップアップポイント	分からないことはないかきをつけて聞く ↓ 大事なことを落とさないように聞く ☆質問したり、感想を述べたりする。		自分の意見と比べて考えをまとめる ↓ 自分の考えとの共通点や相違点を整理する。 ☆自分の考えを持ち、質問しながら聞き取る。		論理面、情意面において説得力のある表現の効果への意識 ↓ 聞き取った内容について理解し、検討し、評価する ☆自分自身のものの見方や考え方を見直し、深める。		
指導事項	話し合うことに関する指導事項	○互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。 ○互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を話しながら、進行に沿って話し合うこと。(中学年)		○互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。 ○話し合いの課題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。		○相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。 ○話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。		進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かそうとする。
	ステップアップポイント	話題に沿って話し合う ↓ 話し合う方法を身に付ける ☆自分の考えを持って話し合いに参加できる。		計画的に話し合う ↓ 話し合いの中で自分の考えをまとめる ☆互いの立場や考えを尊重しながら自分の考えをまとめる。		話し合いの進行の工夫 ↓ 自分の意見を述べたり相手の話を聞いて判断する ☆話し合いを客観的に把握したり、経緯をふり返ったり、展開を考えたりする。		